多重課題シミュレーション

進め方ガイド

～ホワイトボードの活用の仕方～

ホワイトボード①見本

目標

ナースステーション

- 患者の起りそうな最初の変化を予測できる
- Bプランの必要性が高い順に、目的のある必要な看護(観察)を提案できる

病室

- 状況に応じて優先順位を判断し、目的のある看護(観察)が実践できる

ナースステーション

- I-SBAR-Cを用いて目的のある報告ができる

振り返り

- 実践できたこと、改善案を提案できる

ナースステーション10分/病室15分/ナースステーション5分/振り返り10分

訪室時間	時間(40分)						
	: ~						
	: ~						
	: ~						

多重課題の優先順位を判断するための基本的な考え方

- 1) 「重症度」と「緊急性」
- 2) 時間管理(患者さんのタイムスケジュール)
- 3) その他(安全管理、応援要請・報告、他の患者さんへの配慮)

多重課題の対応に必要な技能

患者の急変リスクや今後起こりうる状況を予測する

〇〇号室 患者① 看護記録

9:00

<例>

T36°C、P70回/分、Bp120/60mmHg、R18回/分 SpO294~96%(カニューレ2L)、喀痰は透明・少量、安静時は息苦しさをなく経過。朝食10/10

12:00

バイタルサイン
症状等

〇〇号室 患者② 看護記録

9:00

バイタルサイン
症状等

12:00

バイタルサイン
症状等

〇〇号室 患者② 看護記録

9:00

バイタルサイン
症状等

〇〇号室 患者② 看護記録

9:00

バイタルサイン
症状等

- オリエンテーションはホワイトボードを使用して目標、進め方他を伝える
- 患者情報を全員で共有し、準備ができたなら開始する
- 1人の時間は40分程度とする
- 患者情報は時間の経過に沿って、記録を追加していく

ホワイトボード②見本（振り返り）

実施できたこと

改善案

- 振り返りは誰から発言しても良い
- 観察者がホワイトボードに記入する
- 事例毎に上から記入し、消さない
- 次の看護師役はできたこと・改善案の中から目標を1～3つ決めて下線を引く